

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響



ロイヤル・コンサートヘボウ管などを指揮し、  
オランダ響との数々の録音で絶賛された名匠  
指揮=ヤン=ウィレム・デ・フリート  
Conductor= JAN WILLEM DE VRIEND ©Marcel van den Broek

## “歓喜の歌”

オランダの名匠デ・フリートと  
実力派声楽陣&新国立劇場合唱団で響かせる

# 第九

ベートーヴェン：  
交響曲第9番 二短調 作品125  
「合唱付き」

BEETHOVEN: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

読売日本交響楽団

大成建設 presents 「第九」特別演奏会

2023.12.15 (金) 19:00 東京芸術劇場

TAISEI presents Special Concert  
Friday, 15 December 2023, 19:00 Tokyo Metropolitan Theatre

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

第131回横浜マチネーシリーズ

2023.12.17 (日) 14:00 横浜みなとみらいホール

Yokohama Matinée Series No. 131  
Sunday, 17 December 2023, 14:00 Yokohama Minato Mirai Hall

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

SHINRYO presents 「第九」特別演奏会

2023.12.20 (水) 19:00 サントリーホール

SHINRYO presents Special Concert  
Wednesday, 20 December 2023, 19:00 Suntory Hall

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

第668回名曲シリーズ

2023.12.21 (木) 19:00 サントリーホール

Popular Series No. 668  
Thursday, 21 December 2023, 19:00 Suntory Hall

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

第262回土曜マチネーシリーズ

2023.12.23 (土) 14:00 東京芸術劇場

Saturday Matinée Series No. 262  
Saturday, 23 December 2023, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

第262回日曜マチネーシリーズ

2023.12.24 (日) 14:00 東京芸術劇場

Sunday Matinée Series No. 262  
Sunday, 24 December 2023, 14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時 年中無休)

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

【東京芸術劇場】株式会社ミラクス ミラクスセンター0120-415-306 (予約受付:平日9時-17時/公演1週間前までに予約) 【横浜みなとみらいホール】株式会社明日香0120-165-115 (平日10時-17時/公演3営業日前までに予約) ①学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)、ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。②都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。③ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。④未成年者のご購入は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>



ソプラノ=森谷真理  
Soprano = MARI MORIYA

メゾ・ソプラノ=山下裕賀  
Mezzo Soprano = HIROKA YAMASHITA

テノール=  
アルヴァロ・ザンブラノ  
Tenor = ALVARO ZAMBRANO

バス=加藤宏隆  
Bass = HIROTAKA KATO



合唱=新国立劇場合唱団  
Chorus = New National Theatre Chorus

合唱指揮=三澤洋史  
Chorusmaster = HIROFUMI MISAWA

オルガン=大平健介  
Organ = KENSUKE OHIRA

※15日と20日のみ、前半にオルガン演奏(約15分)を行います。



©Verena Ecker

# 年末に響く、究極の「第九」! 胸に迫る《歓喜の歌》

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く「歓喜の歌」は、国境や世代を超えて、人間愛や平和を謳ったメッセージとして、今も多くの人に感動をもたらす特別な魅力があります。「第九」はすべての人の心に寄り添い、新しい年への希望として響くでしょう。

今年は、オランダ響とのベートーヴェンの録音が絶賛されたオランダの名匠デ・フリーントが指揮台上に上がります。長年の研究と経験に裏打ちされた渾身の「第九」を鮮烈に響かせ、会場を沸かすでしょう。

ソリストには、世界各国の歌劇場でも活躍する森谷真理、山下裕賀、ザンブラーノ、加藤宏隆の4人の実力派歌手陣が共演。日本が誇るプロ合唱団、新国立劇場合唱団とともに「歓喜の歌」を高らかに響かせます。年の瀬に至福のひとつ時をご堪能ください。

## ヤン=ウィレム・デ・フリーント (指揮者)

JAN WILLEM DE VRIEND, Conductor

ベートーヴェンの録音などで高い評価を得ているオランダを代表する名匠。ウィーン室内管の首席指揮者とシュトゥットガルト・フィルの首席客演指揮者を務める。ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランクフルト放送響、ロッテルダム・フィル、ベルリン・コンツェルトハウス管などに客演するほか、2019年までハーグ・レジデンティ管の首席指揮者を務めるなど、数々の有名楽団で要職を歴任。24年から京都市響の首席客演指揮者に就任する。1982年にコンパティメント・コンソート・アムステルダムを創設し、音楽監督を務めて国際的な名声を確立。録音も数多く、オランダ響とのベートーヴェンの交響曲・協奏曲全曲は絶賛された。母国ではテレビシリーズや音楽に関する様々な番組に登場し知名度も高い。読響初登場。

©Hans Morren



### 森谷真理 (ソプラノ)

MARI MORIYA, Soprano

圧倒的な表現力と美しい声で世界を魅了する“ディーヴァ”。ニューヨーク・マネス音楽院プロフェッショナル・スタディーズ修了後、世界各地のコンクールにて優勝、受賞歴多数。メトロポリタン歌劇場にて2006年に「魔笛」夜の女王で大成功を収め、シアトル・オペラ、ウィーン・フォルクスオーパー、リンツ州立歌劇場など欧米でも活躍。19年に「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」での国歌斉唱で話題を呼び、22年にはドレスデン国立歌劇場に「蝶々夫人」表題役でデビューした。

©タカミジュン



### 山下裕賀 (メゾ・ソプラノ)

HIROKA YAMASHITA, Mezzo Soprano

伸びやかな美声で頭角を現す新鋭メゾ・ソプラノ。東京芸術大学声楽科卒業後、同大学院修士課程オペラ専攻修了。芸大オペラ定期公演「フィガロの結婚」ケルビーノ、日生劇場「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「カブラレーティとモンテッキ」ロメーオ、「セビリアの理髪師」ロジーナ、神奈川フィル「サロメ」小姓を歌うほか、東京都響のヤナーチェク「グレゴル・ミサ」、ドヴォルザーク「スターバト・マテル」でソリストを務め好評を博した。日本声楽アカデミー会員。



### アルヴァロ・ザンブラーノ

ALVARO ZAMBRANO, Tenor (テノール)

ドイツで活躍の場を広げるチリ出身のテノール。ドイツのフライブルク音楽大学などで学んだ。2012年から16年までベルリン・ドイツ・オペラの専属歌手を務め、「魔笛」タミーノ、「愛の妙薬」ネモリーノなどで出演。19年からライブツィヒ歌劇場の専属歌手となり、「ルル」公爵、「ラインの黄金」フローなどを歌うほか、ノルウェーのベルゲン国立歌劇場などに客演。21年はシャンゼリゼ劇場などでゴンザレス＝トロ指揮「ウリッセの帰還」でジャルスキエラと共演し、絶賛された。



### 加藤宏隆 (バス)

HIROKATA KATO, Bass

深くノブルな響きで幅広いレパートリーを得意とするバス。東京芸術大学卒業、ジョンス・ホプキンス大学ピーボディ音楽院修士課程、インディアナ大学ジェイコブズ音楽院ディプロマ課程修了。フィレンツェでも研鑽を積む。米国ではアスペン音楽祭に2年連続で参加し、「真夏の夜の夢」シーシアスなどに出演し好評を博した。帰国後は東京二期会「魔弾の射手」カスパール、「パルジファル」グルネマンツなどを歌うほか、「第九」や宗教曲ソリストとしても活躍。二期会会員。

### 大平健介 (オルガン)

KENSUKE OHIRA, Organ

東京芸術大学、同大学院卒業。ヴェルツブルクとミュンヘン音楽大学にて教会音楽と現代音楽を学ぶ。2016年ニュルンベルク国際コンクール優勝。18~20年にシュトゥットガルトのシュタイフツ教会専属オルガニストを務め、高い評価を得た。聖ヶ丘教会首席オルガニスト、アンサンブル室町芸術監督。



©Verena Ecker

### 新国立劇場合唱団 (合唱)

New National Theatre Chorus, Chorus

### 三澤洋史 (合唱指揮)

HIROFUMI MISAWA, Chorusmaster

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響「第九」のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響「第九」公演に出演。

### 読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、セバスティアン・ヴァイグレが常任指揮者を務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <https://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可 \*チケット郵送料無料

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 (23日、24日)

特別協賛: 大成建設株式会社 (15日)、新菱冷熱工業株式会社 (20日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))

独立行政法人日本芸術文化振興会 (21日)

事業提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 (15日)

協力: 横浜みなとみらいホール (17日)